

富山・農業電化推進コンクール表彰 効率高め経営健全化

【富山】県農業電化推進コンクール協会は18日、富山市内の協会長賞4件を表彰で開いた総会で「農業」した。本年度事業とし

ては、最新の農業電化する研究会やセミナー、コンクールなどの技術情報を収集、発信



富山県農業電化協会長賞の受賞者ら(18日、富山市で)

開催を決めた。協会は富山県JAグループや県、北陸電力などで構成。営農型太陽光発電やスマート農業などの技術を経営に取り込み、エネルギーの効率

的な利用や経営の健全化を目指す。

コンクールの表彰式には、むかいさんちの農園(魚津市)の向中野芳和さん(44)と農事組合法人水土里(滑川市)の清水清司さん(75)、田中園芸(小矢部市)の田中寛二さん(50)が出席。南砺市の林金一さん(74)は代理人が表彰状を受け取った。

功績は次の通り。

▽向中野芳和(ブルーベリー)養液栽培システムによる液肥の局所施肥で、作業の効率化と環境改善を図っている。冷凍庫と冷蔵庫を活用し、出荷先に応じて鮮度保持し、食品ロスを抑制している▽水土里(水稲・大豆・野菜・雑穀)鮮度を保持した出荷に努め、6次産業化を推進。燻炭(くんたん)加工したもみ殻で土壌を改善し、収量と品質を確保している。脱炭素化に役立つ手法の一つ▽田中園芸(水稲・バラ・ストック)大型ハウスにヒートポンプを導入し、温風機とのハイブリッド運転で温度管理。施肥や天窓、カーテンの開閉も自動化し、品質の均一化などを図っている▽林金一(あんぼ柿)従来の糸つり作業が不要となる「平棚式乾燥機」をメーカーと連携して開発。乾燥機は労務量の低減に加え、品質の安定化、生産量拡大につながっている